

相模原市
マスコットキャラクター
「さがみん」

さがみはら 生物多様性 シンポジウム



地域で取り組む生物多様性の保全

2016. **2.13** **土** 14:30 ~ 17:00
相模原市民会館 第1大会議室

主催：相模原市・さがみはら生物多様性ネットワーク

プログラム

相模原市の生物多様性に関する取り組みを、より一層進めていくため、市民・団体・事業者・行政などが、相互に連携・協力して行動する組織として「さがみはら生物多様性ネットワーク」が設立されました。

その設立にあわせ開催する今回のシンポジウムは、「地域で取り組む生物多様性の保全」をテーマに、基調講演と環境団体による活動事例発表を通じて、生物多様性についての理解を深めるとともに、自然と共生するまちづくりについて、私たちの身近にある自然環境から考えることを目的に開催します。

14:30 開会 主催者あいさつ

14:40 さがみはら生物多様性ネットワークの紹介

14:50 第 部

基調講演 相模原における蝶類多様性と外来種問題

講師 岩野 秀俊さん

基調講演 これぞ相模原！

生物多様性から見た地域のセールスポイント

講師 秋山 幸也さん

15:50 休憩

16:00 第 部

事例発表 木もれびの森の保全活動について

NPO法人 相模原こもれび

事例発表 田んぼとゲンジボタルの保全について

田名・望地の田んぼとゲンジボタルを守る会

16:30 質疑応答

17:00 閉会

講師のご紹介

岩野 秀俊 さん（日本大学生物資源科学部教授・ さがみはら生物多様性ネットワーク設立に向けた検討会座長）

1951年東京生まれ。博士（農学）（九州大学農学部）。

1975年日本大学農獣医学部農学科卒業。

1978年日本大学農獣医学部助手。

1993年ミネソタ大学農学部昆虫学科客員研究員。

2006年日本大学生物資源科学部教授。

専門分野は、応用昆虫学・昆虫病理学・分子昆虫学・昆虫生態学。

学会活動として、日本鱗翅（りんし）学会会長、日本応用動物昆虫学会評議員、日本蚕糸（さんし）学会代議員、相模の蝶を語る会代表、Member of Lepidopterists' Society(USA) など、多岐にわたり活躍されています。

著書に、『相模原公園の蝶たちとその暮らし』、『蝶類生物学英和辞典』、『日本の昆虫の衰亡と保護』、『害虫管理と天敵の生物学』など多数



秋山 幸也 さん（相模原市立博物館学芸員）

1968年神奈川県生まれ。日本自然保護協会(NACS-J)自然観察指導員。

本市博物館において生物を担当する学芸員として従事するかたわら、神奈川県や町田市など県内外の自治体における生物多様性地域戦略策定に学識経験者として参画したほか、各地の講演会の講師を務めるなど、生物多様性にかかる専門家として多岐にわたり活躍されています。

著書に、『アマガエルのヒミツ』、『生きものつかまえたらどうする?』、『はじめよう！バードウォッチング』など



事例発表団体の紹介

NPO法人 相模原こもれび

「木もれびの森」の中の主に大野台地区で活動しています。草刈り・間伐や散策路の整備、自生する植物を保護する活動や植生調査などを行っています。

近隣の小中学校の学習への協力やイベントの開催など子どもたちをはじめ多くの人に森の魅力を伝えるための活動を展開しています。

毎月の定例活動のほか、木工チーム、植生調査チーム、普及・啓発チーム、教育研修チーム、ジュニアボランティアチーム、広報の6チームがそれぞれ活動しています。



田名・望地の田んぼとゲンジボタルを守る会

田名・望地地区に生息するゲンジボタルを守ろうと活動をはじめました。ホタルが飛び交う時期には、毎晩2回用水路に沿って歩きながら、ホタルの数の調査を行っています。また、用水路の清掃活動や、農薬や化学肥料を使わず、機械の使用を減らした自然農法により稲や小麦を作ることで、田んぼに生息する生きものを守っています。





潤水都市 さがみはら

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性